

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年12月27日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200275
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホームこくぶ太陽の家
所在地	鹿児島県霧島市国分中央1丁目24番地24号 (電話) 0995-48-7320
自己評価作成日	平成26年11月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年12月16日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

長期入居者様が多く介護度も上がっている事もあり、日々の変化に気づき一人ひとり入居者様に合った対応に努めます。

地域ひろばも二年目、人が人を呼んで少しずつ参加して頂く方も増え、充実してきています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は敷地内に児童デイサービスの施設が併設され、子ども110番の家の指定を受け、子供たちと利用者との交流が図られている。
- ・町内会に加入し当番制の班長を受けたり、地域行事や清掃活動・葬儀の手伝いなどに積極的に参加している。
- ・市認定の「まちかど介護相談所」を事業所に設置し、認知症対策や介護支援の情報発信の場となっている。
- ・災害に備え、法人全体や事業所独自の災害訓練を行なっている。地域住民の協力を求めたり、夜間想定訓練を行い地域主催の訓練にも参加している。緊急時の備えとして防災設備や水や食料等の備蓄も定期的に点検を行っている。
- ・利用者が張り合いのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や習慣を大切に、その役割発揮を支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体と自施設2つの理念を掲げ、職員一同努力している。	理念は利用者が地域の中で今まで通り暮らしていけるようにとの思いで、ミーティングで理念を復唱したり、事業所内に掲示して、常に基本に立ち返り支援を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々の生活の中で地域の方々に頼まれ事をされる等、交流が出来てきている。	町内会に加入し、班の役も引き受け、回覧板や広報誌等で地域と情報を共有している。地域行事や葬儀の手伝い、清掃活動にも積極的に参加し、幼稚園児や小学生との交流、中・高校生の職場体験学習なども受け入れ、交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域で気軽に相談をしていただける場として看板を掲げ、今年は二人目の相談員も研修を受け育成中である。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進委員の方も増え、良い事ばかりでなくマイナス面についても会議を通して相談をし、意見を伺っている。</p>	<p>会議は定期的に行っている。事業所の状況や外部評価の報告が行われ、参加者から多くの情報や助言・提案が出され具体的なサービスに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>霧島独自の事業、又レクリエーションも頻繁で行政の方々との交流も多々ある事もあり、相談しやすい状況である。</p>	<p>市担当者とは、困難な事例や情報交換を行い、アドバイスを貰っている。利用者や職員との交流も行なっている。市主催の研修やサポーター養成講座などにも積極的に参加している。生活保護担当者とも密に連絡し合っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会で話し合いを持ち、日中は玄関の施錠をすする事なく自由な生活に努めている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設け、マニュアルを基本に会議や勉強会で身体拘束について話し合い精神的苦痛などの理解を全員で学習しケアに活かしている。身体拘束をしないケアを実践している。日中の玄関の施錠はせずに自由に出入りできるように職員の見守りで支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>目上の方、お客様であると言う事をミーティング等にて話し合い細かい注意を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人の方々との連絡をしっかりと取りあい対応させて頂いている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、目通し頂きながら読み上げ納得頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時必ず御家族とお話しさせて頂き、御家族の状況も伺いながら今後についても御家族の意見を伺っている。	利用者からは日々の関わりの中で思いを聞いている。家族からは、面会時や家族会・行事参加時などに意見や要望を聞き、出された事項は職員で話し合い運営に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月一回の管理者会議での運営に関する話しを職員に伝え、それに関しての意見を管理者が伝えている。	管理者は職員とのコミュニケーションを図り、相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。管理者会議の内容を職員に伝えるとともに、ミーティング等で意見や提案を聞き、反映を図るよう心がけている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	正職員月給制になり退職金制度も出来つつある。管理者、介護支援専門員の時間枠を作れるようになってきている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修を積極的に受け資格取得に繋がっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修、レクリエーションと同業者との交流に参加し良い刺激を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人への声かけは勿論、不明な点は家族や関係機関に問い合わせ確認する様努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前の説明の他に家族会や関係者会議等、話し易い環境や時間の確保が出来ている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所前の聞き取りや関係機関からの資料をまとめ、職員も事前に目を通し把握する様努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>調理補助や洗濯物たたみ等生活する上で必要な作業を割り振り、お手伝い頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院受診時以外でも本人からの要望があれば、自宅からの生活用品の持ち出し等で来所頂く機会を増やしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅や家族、知人等宅への訪問や送迎。ドライブを兼ねて訪問する機会を設けている。	本人や家族からの情報をもとに、馴染みの人や場との継続的関係が途切れないよう働きかけ、馴染みの美容室や店・墓参りなどに、家族と一緒に出かけたりしている。これまでの人間関係を把握して継続して交流ができるように支援している。ドライブでは希望の場所にも出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	極力席を離さず隣同士が（友好的な状態を保てる様、席の配置に気を配りつつ配置換えをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	個人の健康状態表の常時確認や報告、伝達が出来る体制が整っている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いや希望を傾聴し、一人ひとりに合ったサービスが提供出来る様努めている。	日常生活の中で入浴時や夜間などの話しやすいタイミングや雰囲気の中で本人の思いや意向を把握している。言葉や表情などからも思いの把握に努めている。職員も気づきを記録し、職員間で話し合い、利用者本位の支援に結びつくように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	お茶、食事、入浴、家族の面会時などでの会話を記録に残し職員間で共有、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務の中で常に目配り気配りに努め、一人ひとりの心身状態を職員間で把握、共有し合っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当職員を決めて、受診時の家族への連絡を行ったりミーティングにて他職員と意見交換しながら情報を共有し合っている。	本人や家族の意向を確認しながら主治医からの意見を聞き、職員で話し合い、記録帳からの情報も参考に介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の朝、夕の申し送りにて日々の情報を把握している。又、個人経過表や日誌に記録を残す事で情報を共有し合い、毎月のミーティングでもカンファレンス等行う事で今後の介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族のその時々状況について電話連絡等行う事により柔軟な支援に努めている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行政や地域ひろば等の催し物に参加し、情報収集を行いながら地域との交流も深め、安心して日々の暮らしを楽しむ事が出来る様に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個人のかかりつけ病院があり、定期的に病院受診し内服処方してもらっている。急な風邪症状等の際は近医にて往診も行っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を事業所に対応している。専門医の受診も行なわれている。受診結果は家族と事業所が共有している。緊急時の対応などには、近くの医療機関と連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>状態の変化、皮膚の異常等早期に発見し速やかに看護師に報告出来ている。必要に応じて病院受診等し、対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は入居時の状況、状態変化時のサマリーを用い情報提供を行っている。お見舞いに行った際も医療関係者に入院時の状況を聞きスタッフで共有している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>担当者会議等、御家族とゆっくりと話し合える場にて急変時の対応を相談している。</p>	<p>契約時に本人や家族等に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴いその都度説明し家族の協力や理解を求めながら、医師や看護師を含む関係者が連携して事業所で支援している。看取りの事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防訓練や救急蘇生の勉強会を行い知識を身につけている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防署立ち合いによる避難訓練や地域の方を招いての訓練、点検業者による設備点検の実施。隣接する児童施設との合同訓練も行い、緊急連絡網も作成している。</p>	<p>災害時に備え、法人全体や事業所独自の避難訓練を、年2回消防署の指導を得て、昼夜間想定で実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、隣接する児童施設や地域住民との協力体制もできている。災害時の水や食料等の備蓄も定期的に点検を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>更衣や入浴、排泄等の介助に際しては本人の気持ちを汲み取り快く応じて頂くにはどう声かけすればよいかを職員間で話し合っている。</p>	<p>職員は、事例をもとに研修を重ね、日々の関わりの中で、利用者の尊厳とプライバシーに配慮しながらケアや言葉かけに努めている。職員間で注意し合ったり馴れ合いにならないように配慮している。個人情報保護にも十分配慮して記録等の取扱いには細心の注意をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ADLの低下に伴い出来ない事が増えていく中でも、その方の出来る事を見つける事の出来る気づきの介護を実践している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>レクリエーションや行事を通して本人や家族の思い出に残る様、企画し実施する際は常に楽しんで頂く事を心掛けている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>毎朝、夕の衣服の更衣は勿論、洗髪や洗顔、出張美容室等利用し整えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の際の好みや姿勢をよく観察する。野菜の下ごしらえや献立を考えたり準備段階から参加頂いている。</p>	<p>旬の食材を使用し利用者の希望に添った献立にしたり、食事形態に配慮している。利用者の力量に応じて準備や後片づけを職員と一緒にしている。誕生会やおせち料理作り・そば打ちなどの行事食、弁当持参での花見などは食事を楽しむことができるように工夫している。利用者と共に味噌や漬け物を作り味わい楽しんでいる。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量を毎回チェックしている。食べにくい硬さの時はミキサーにかける等、個人に合わせ工夫している。水分も摂取量見ながら時間で声かけをして飲んで頂いている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後は歯磨き、うがいの誘導をし清潔保持に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ベッドから移乗する前などオムツチェックし、交換に努めている。又、トイレ排泄が出来る方は時間で声かけし、トイレでの排泄が出来る様、介助している。	一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、職員の声かけや誘導によるトイレでの排泄を大切にしている。表情やしぐさでの察知も行い積極的にトイレ誘導をして、オムツを減らす取り組みや排泄の自立を支援している。改善された事例が多くある。便秘症の利用者は朝、冷水補給をする等工夫している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の中に繊維の多い食品など摂りいれたり、水分摂取を時間で声かけしている。又、お茶ですすまない場合はジュースや牛乳など飲みやすい物に替え摂取頂いている。	/	/
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の状態によって入浴出来るか考慮している。又、拒否が見られる際は時間をおいての声かけ、日にちをずらし対応している。	入浴は基本的には一日置きであるが、希望や必要に応じその都度、対応して入浴が楽しめるようにしている。入浴を拒む利用者には入浴剤や足浴、タイミングをみて声かけなどを工夫して状況改善に努め、無理意地しないようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	車イスの方が多いため、長時間座位が続かない様に午前、午後で休んで頂いている。昼夜逆転にも注意し時間をみて援助を心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々に内服状況がわかる様ファイルにしてあり、すぐに見れる様にしてある。頓服薬服用の際は日誌、一覧表へ記載している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事、地域のひろばへの参加等を楽しまれたり、それぞれ個々に合ったレクリエーションを提供支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	可能な限り外気浴や散歩を実施している。行事で春は花見、ドライブ等行い、外出にも心掛けている。	日常的に園庭での日光浴や近隣の散歩を行い、地域の住民ともふれあう機会になっている。計画を立てて、地域の行事見物や買い物・ドライブ・外食・花見等の戸外に出かける支援をしている。家族の協力を得て墓参や受診などの外出も支援している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>御家族よりお小遣いを預かりホームに保管、管理している。欲しい物や補充する買い物があれば、希望に合わせて相談して購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人が希望した時に電話や手紙でやり取りして頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>壁面に季節に合った飾りをしている。明るさに配慮し照明を利用する。決まった時刻に室内の温度、湿度のチェックをしている。</p>	<p>ホールは広く色や採光の配慮がなされ、温度・湿度計があり時間ごとの記録が行なわれ換気もされている。季節を感じさせる飾り付けがあり、壁には行事の写真や利用者の作品などが貼付されている。ゆったりしたソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>座席に気を配り話し相手や気の合う人同士で楽しく過ごせるようにしている。ソファ席も自由に利用して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の好きなものや家族の写真を飾り、落ち着ける空間であるようにしている。</p>	<p>居室は本人が使い慣れた品物や家族の写真・外出した時の写真・趣味の書道・お気に入りの小物・家具・自分で作った作品などが持ち込まれ、掃き出し窓があり、居心地のよく過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>車イスが動き易い家具の配置にしている。夜間のポータブルトイレはご本人の使いやすい位置に置いている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない